



大樹のこころ

ストレスなしの修学旅行

修学旅行で一番心配だったのがインフルエンザでした。これまで行楽シーズンのこの時期に、インフルエンザが流行するようなことはなく、想定外の事態となっていました。他校からは「旅行先で発熱して保護者のお迎えを依頼した」「インフルエンザで参加できなくなった子がいた」といった情報が入ってきていました。「みんなで修学旅行に行きたい」という願いを持ち、6年生は健康管理に努めてきました。その結果、参加予定者全員で修学旅行に出発することができました。しかも、旅行先で体調を崩す子も一人もおらず、爽やかな気持ちで日程を消化することができました。



今年の修学旅行では、大きな変更点がありました。それは見学先を一日目を京都、二日目を奈良としたことです。普通は逆で、初日に奈良を訪れるのが通例です。自分自身、こうした行程は初めてだったので、どうなるのか不安だったのですが、結果大正解でした。毎年大混雑する清水寺が、なぜか空いていました。ガイドさんの解説もしっかり聞くことができ、記念写真もたくさん撮ることができました(例年だと歩くのに精一杯。写真も撮るのが難しい)。二条城も観光客が少なく感じました。そして何よりすごかったのが金閣寺。訪れた時間帯が夕刻。夕日に映える金閣寺の美しさ。これほど美しい金閣寺を見たことがありません。通常の行程だと金閣寺は昼の14時ぐらいに組まれることが多いのですが、これも日程変更のおかげです。修学旅行の行程は「渋滞込み」で計画されます。しかし今年の京都は渋滞知らず。スムーズに見学をこなすことができ、予定より1時間近くも早く旅館に到着することができました。そのために旅館でゆったりと過ごす時間が生まれ、子供たちは宿泊を心行くまで楽しむことができました。



二日目は順調だった一日目とは逆に、渋滞に悩まされることになりました。法隆寺から東大寺へ向かう道が想定外の混雑。ここで学年主任と添乗員さんと相談して、活動内容を若干修正することにしました。これが功を奏し、その後はスムーズに活動ができました。帰路で立ち寄った名阪関ドライブインでは、学年主任・柴田先生の双子の弟さんと偶然遭遇し、あまりの「一卵性」ぶりに子供たちが騒然となるという面白エピソードも生まれました(笑)。



本当にストレスのない素晴らしい旅行となりました。この旅行を企画運営してくれた6年生の先生方、引率の先生、そして準備や子供たちの健康管理に協力してくださった保護者の皆様に感謝します。ありがとうございました。

